

令和7年度 地域連携推進会議（報告）

日時 令和7年10月16日（木） 午前10時～午後2時まで

場所 伊那市防災コミュニティーセンター 第3会議室

参加者 地域連携推進委員、構成員

構成員：A様 B様 C様 D様 E様

委員： F委員 G委員 H委員 J委員 K委員

内容

1 開会

2 あいさつ

（1）事業所より

本日は、お忙しい中、午前中からお集まりいただきありがとうございました。

地域連携推進会議を開催するにあたり、経緯としましては、施設運営に当たって、地域と施設等が連携することにより、利用者と地域との関係づくりや、地域の方への施設等や利用者に関する理解の促進を目的として地域連携推進会議の開催と、全てのGHを訪問し見学する事が、令和7年から義務化されたという事があります。これに基づいて構成員の皆様に、当事者や外部の視点からご意見を頂くことで、事業所の運営・共同生活援助の支援の質を確保していくことができると思っております。

午前中短時間ではありましたが、ホームを訪問・見学していただいた感想や気が付いた点、また、地域の中からほっと上伊那を見る中で感じていたことなどお話しいただけますようお願い申し上げます。

新しい、制度という事で、どのように進めて行ったらよいのか、悩むところも多いのですが、皆様と一緒に進めてまいりたいと思っております。どうか、事業所の盛り上げ隊として温かく見守りいただけたらと願っております。

（2）連絡事項

- ・GH見学時につけていただいたチェック表ですが、この後の状況報告のところでお話しいただきたい。会議終了後提出してください。今後に生かしたいと思います。
- ・会議の中で個人情報が出される場合がありますが外部にお話しされるという事はご遠慮下さい。

今までのところで何か質問はございますでしょうか。
では、進めさせていただきます。

3 議題　自己紹介

(1) 事業報告・近況報告

- ・パンフレットの説明

＜補足＞

知的障害者の方の生活場所、3障害に対応している。18ホームあり北は辰野から南は駒ヶ根市で上伊那圏域で事業を行っている。かなり移動距離がある。伊南、伊北と事務所を分けている。伊南は10箇所、伊北は8箇所ある。その他の事業として居宅介護事業（通院）、移動支援事業（外出）行っています。ほっと上伊那の前身は平成14年に西駒郷改築検討委員会で地域移行生活がすすめられてきました。それまでは西駒郷の中で生活していましたが平成15年に「小城の家」が開所されています。ほっと上伊那の元となるのが平成18年10月「ほっとワークスGH・CHセンター」という名前で始まっています。その後平成25年に「ほっとグループホーム伊南、伊北」と二つの事業所に分かれましたが平成30年になり分かれていた事業所が統合され「ほっと上伊那」として開所されました。令和7年現在職員は入替がありますが127名～135名の間で動きがあります。平均年齢は68.7歳です。利用者は定員が101名、現在99名利用。平均年齢は58歳。

- ・上半期の事業報告

＜質問等＞

D構成員) 新築の建物、中古住宅改修の建物では差がある。設備面での改修や修繕費等が年々多くなってきていると思うが、運営に関してどのくらい割合を占めているか。どこかで質を落とさなければならない。人と設備と比べた時に何となく設備の方に経費が行ってしまうのかなと心配なところはある。

F委員) 法人本部からは、予め計画性を持ってと言われているが、調子が悪くなったり使えなくなるのがある日突然で、その辺は本部との交渉であったり、次の年の予算に組み入れるとか出てくる。法人としてそういった時の為に備えて費用を蓄えておくような仕組みを作ろうという動きはあるが、それをやるには検討していかなければならないという事で進んでいない。昨年、ねむの花の特別浴槽（リフト浴）が故障した。何とか基盤を取り寄せてもらい使えるようになったが、業者からは次故障したら直せないとと言われている。実際使えなくなってしまったら生活の質が落ちてしまう。当時設置するのに一千万円近くかかっている。事業所として

は導入は難しい。今後の対応策として現在特別浴槽を使っている利用者も今後使えなくなった時の為に、他事業所の入浴サービスを週1回利用している。

- C 構成員) 初めてこういう施設を見学させてもらった。どこもみんなきれいな建物だった。行く前のイメージはもっと老朽化した建物を描いていたが全然違う。利用者さんの特性により破損させてしまうケースもあると聞いた。そんなこともあるのかと驚いた。そこまで気が回らなかった。お金をかけていいものを作っても、本人(利用者)にしてみればストレス発散かもしれないが、修繕に掛かる費用、補修や予防策など大変だと思う。施設運営って大変だなと思った。暮らしている人に「そんなことをしたらダメじゃないか」と言っても分からぬと思う。通じない。施設管理はお金がかかっていくものなんだと思いました。TVのガードなど大変なこと。どこからお金が出ているのか見学の時に聞きましたが。入居者を増やす事(空きがないようにする)
- F 委員) 最初に新しいものを作る時には補助金の申請をしている。(国、県) それだけでは100%足りない。事業所で借金をして少しづつ返していく。作る時点でどんな目的に沿ったホームを作るか計画していく。伊那市ではそうした面で補助などありますか。
- E 構成員) 市独自で重度向けの補助金はある。障害の方が自宅で暮らせるようにするバリアフリー等の補助金あるが件数的には少ない。
- F 委員) 目的に合った事業をする場合には申請していきます。

(2) ホーム見学の状況

＜感想、質問等＞

- E 構成員) (朝日ヶ丘ホーム・いづみ見学) 朝日ヶ丘ホームは新しい建物ではないが、きれいに整理整頓がされていた。一人利用者さんがいたのでお話を聞いた。「困ることはなく、問題なく過ごせている」とのこと。過ごしやすい環境になっている。いろんな障害を持った持った方が集まっているところで、その人にあった支援をしていく世話人さんも大変だと思う。支援者不足何とかしていかなければならない課題であると思いました。
- D 構成員) (まどか・新町ホーム・高遠陽だまりホーム見学) 陽だまりは新築と言っても15, 6年たっているようですが、世話人さん気合を入れてきれい掃除しているなと思った。トイレと炊事場はきれいだった。外回りは広

くて良いが管理が大変。外回りまで手が行かない。世話人にお願いするのも大変。新町も外回りが大変（草木多い）。まどかは複雑な構造で住宅管理も将来的には難しいか。（ホームとして利用）防災の面でも心配。利用者さん一人いた。元気そうではっとしました。

B 構成員) (いなにしホーム・西みのわ・平出ホーム見学) 3箇所見た。きれいだった。快適に過ごせていると思う。食事もよさそう。ホームの事なかなか聞くことなかった、今回はいろいろ聞けて良かったです。普段の様子がきけて良かったです。大変いい機会だった。安心しています。

C 構成員) (せせらぎホーム・ねむの花・のど香・とことこ・さんさん見学) 外回りきれいだった。施設の周り美化も大事。

F 委員) 環境整備どんなふうにやっていますか。

I 委員) ビーバーが使える職員で行っています。世話人が除草剤まいたりしている。

F 委員) ゆいま～るの就労B型で仕事として草刈りなど行ってくれています。事業所同士のつながりもあり、うちのホームでお願いしているところもあります。

利用者代表として A 構成員さんどうですか。

花みずき楽しいですか。

A 構成員) 楽しいです。

F 委員) ホームの生活は満足していますか。

A 構成員) 満足です。

F 委員) 桜木園の仕事はどんなことやっていますか。

A 構成員) 部品組み立て ハウスの中でキュウリ、ゴマ収穫

F 委員) 利用者さんとは仲良くやっていますか。

A 構成員) やってる。

F 委員) 世話人さんとはどうですか。

A 構成員) あまりしゃべらない

F 委員) 外出はどうですか。

A 構成員) ヘルパーと行くよ。月に1, 2回。

F 委員) 何かやってみたことはありますか。

A 構成員) 別にない。

(3) 意見交換

F 委員) ご意見、要望等ありましたらお願いします。

E 構成員) 利用者の皆さん高齢化、世話人も高齢化、ソフト面で直接支援に係る部

分にお金をかけて欲しい。外へ出かける機会多く持つて欲しい。（重度の方も）大変だとおもいますが。

B構成員) 以前は旅行に行っていたようですが、旅行とは言わないがお出かけをしてもらいたい。

(4) その他連絡事項

本日は、午前中から長丁場となりました。ご出席いただき誠にありがとうございました。本日頂きました貴重なご意見ご要望等を事業所の運営に役立てていきたいと思います。今後とも、ほっと上伊那の事業運営にご協力お願ひいたします。次回開催については、年度末頃お知らせいたします。

なお、会議の内容は、公開することが定められています。法人で統一した方法で公開されますが、おそらくホームページに掲載となると思われます。準備が整うまでお時間いただきます。

お気をつけてお帰り下さい。お疲れ様でした。

以上